

## 「日頃の教育に対する工夫，及び今後の教育への抱負」

物理工学科 橋本 貴明

教育に関しては，多数を占める中程の学力を持つ学生のレベルを全体としてどのように上げるかという点に留意して授業を行なっています．近年の入試の多様化による学生の質的变化や全般的な学力の低下が深刻ではないかと考えています．質問に訪れるなど授業に積極的に取り組んでいる学生に対しては，その学力を把握し適切な指導を行ないやすいですし，また学業不信の学生に対しては呼び出して指導するなどの対応が可能です．このような個別学生への対応も必要ですが，多くの学生はそのどちらでもなく，まじめに学習に取り組んでいるものの，授業内容が理解が出来ないまま質問するまでにいたらないことが多い印象です．

従来の試験内容では平均値が引続き落ちて来ている現状から，中間層のレベルアップに意識的に焦点を当てた講義内容にしていますが，学生の具体的なニーズはなかなか測れないのが実情です．試験の得点分布など全体的数値指標以外のデータを取ることは難しいのですが，これまで個別に得た情報から，日頃行なっている教育に対する工夫は，以下のような基本的なものです．

- 1．授業時間内での理解が難しい内容も含まれているので，後から見直し安易よう板書を出るだけ整理し丁寧に行なう．質問に対しては初歩的な事項にさかのぼって説明し対応する．
- 2．多くの授業で，期末試験前にレポート課題を出す，任意にノートの提出も求め加点評価の対象としている．同時に特に授業中学生の反応を見て変更した点などその年の板書内容の確認し，毎年改良を行なう．
- 3．授業アンケートの記述欄だけでなく，全体的傾向に注意する．

中間層全体のレベルアップに対して，最近の学生の変化へ対応した適切な方法はまだ見つかっていませんが，独り善がりにならないよう注意し，学生の反応により耳を澄ませることに努めています．今後も，授業アンケートなどを通して，彼らの声なき声を授業に反映させて行く工夫を行なっていきたいと考えています．

以上は，私の個人的な対応ですが，いわゆる良い授業という画一的なものはないのではないかと考えています．社会に出てから遭遇する問題は，特に研究開発関連では，分かり易いものではなく未知のものである場合の方が多いはずで，遭遇する様々な場面に対応できるよう，難解な授業，やたらと演習の多い授業，聞いた時は分かった気になるが自分で考え直すと良く分からない授業等等，授業の多様性の確保の方が後々学生の役に立つのではないのでしょうか．このような個性的な授業は得てして学生からは不人気である場合が多くあります．本学科では選挙で優秀教員を選出していますので，得票数が多かった結果選ばれたことになりませんが，この点で授業の多様性に十分寄与出来ているかは心元ありません．